

利用・用途・応用分野

無料開放特許

土木・農業・環境分野、水田の排水路等

目的・課題

従来、水路側から水田にどじょうが遡上できる設備を低コストで設置することができなかった。水田と水路との間における配水管内の流速を低下させ、どじょうが遡上し易い環境を形成して、水田の環境を保全するとともに、腐食、変質がなく耐久性のある遡上設備の提供を課題とする。

解決ポイント

水田と水路の間の排水路としてのパイプ内で、縦材と横材により略矩形状に形成された合成樹脂製型枠の縦材の間に合成樹脂製の網の両側部を取り付け、網の上側に少なくとも1本の縄を取り付けた遡上設備。網の両側部の間の部分が型枠の面から張り出す幅があり、遡上設備を設置した時に網が排水路としてパイプの底側の内周面に略接する位置に張り出すようにしたものであり、網の形状維持のため支持部材を適宜型枠に付随して設けてもよい。

研究概要・アピールポイント

遡上装置を水田の排水管内に設置すると排水管内の流速が低下し、どじょうが遡上し易い環境となり、餌とする生き物が多くなり、水田の環境保全がなされる。この設備は基本的に剛性樹脂で構成されるので、腐食、変質がなく、流速低下のための縄を適宜交換すればよいので、維持管理が容易で、製造コストも格段に抑えられる。

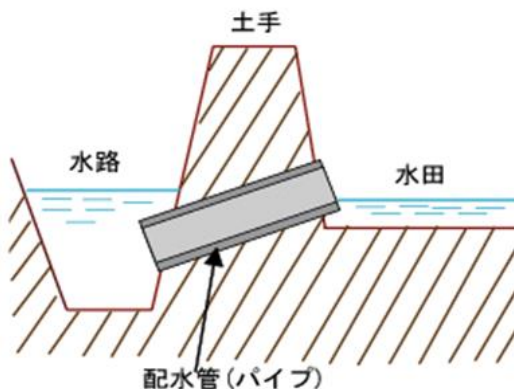


図1 遡上設備の設置箇所を概略的に示す図

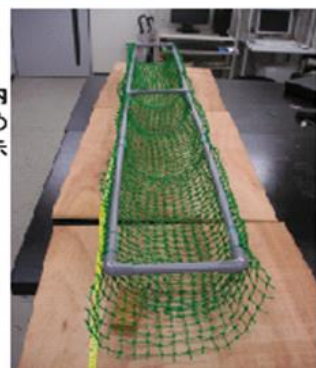


図2 本発明による遡上設備を配水管(パイプ)内に設置した図

図3 配水管内に設置するための遡上設備を示す斜視図



図4 どじょう



◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ローター・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp